

令和4年度（令和3年度決算）

みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

令和4年度（令和3年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 学校施設改修事業	1
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	2
○ 外国語指導助手配置業務事業	3
○ 夢の教室事業	4
○ 町教育委員会研究指定校委嘱事業	5
○ 教育委員会活動事業	6
○ 特別支援教育支援員配置事業	7
○ スクールサポートスタッフ事業	8
○ スクールカウンセラー事業	9
○ スクールソーシャルワーカー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ ICT支援体制確立対策事業	12
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	13
○ 育英資金貸付基金事業	14
○ 学校給食費補助事業	15
○ 義務教育施設整備事業	16
○ 学校給食センター事業	17
○ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	18

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	19
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	20
○ 放課後子ども教室事業	21
○ 生涯学習事業	22
○ 図書館事業	23
○ 文化財保護事業	24
○ 社会教育施設整備事業	25
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	26
○ 各種スポーツ大会等開催事業	27
○ 社会体育施設整備事業	28

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	74,075	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							74,075	
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進						
	主要施策	学校施設・設備の充実						
事業の内容等	学校施設の老朽化等に対し改修を行う。							
事業の実績等	【中原小学校】			①特別教室エアコン設置工事	2,508,000円	⑰シーソー移設のための整地工事	33,000円	
	②公共下水道接続及び屋外トイレ改修工事			24,043,800円	⑱プール循環ろ過装置	自動排水弁取付工事 440,000円		
事業の実績等	③給食室非常ベル増設工事			36,080円	小学校計	43,962,290円		
	④北校舎南側舗装工事			363,000円	【中原中学校】			
事業の実績等	⑤体育館東側フェンス設置工事			924,000円	⑲体育館防球ネット修繕工事	264,000円		
	【北茂安小学校】			⑥特別支援教室コンセント設置工事	187,000円	⑳高圧受電設備更新工事	7,857,300円	
事業の実績等	⑦中校舎爆裂補修工事			308,000円	㉑グラウンド南側防草シート設置工事	1,023,000円		
	⑧屋外排水側溝補修工事			1,078,000円	㉒夜間照明用高圧電気設備撤去工事	814,000円		
事業の実績等	⑨プールろ過装置改修工事			9,570,000円	㉓教室鍵取替工事	704,000円		
	【三根東小学校】			⑩南校舎廊下床張替工事	805,200円	㉔運動場放送機器更新工事	649,000円	
事業の実績等	⑪校舎3階窓手摺工事			372,900円	㉕プール塗装改修工事	12,738,000円		
	【三根西小学校】			⑫照明器具増設工事	116,160円	【北茂安中学校】		
事業の実績等	⑬相談室空調設備工事			838,000円	⑳トイレ天井配管工事	396,000円		
	⑭体育館雨漏り修理工事			1,595,000円	㉗雨樋接続金具取替工事	4,070,000円		
事業の実績等	⑮すべり台付ジャングルジム改修工事			495,000円	【三根中学校】			
	⑯手洗い場自動水栓取付工事			249,150円	㉘教室カーテン取付工事	167,634円		
事業の成果等	自己評価	各小・中学校施設については、児童生徒の安全と教育環境の充実を図ることを目的に、施設の状況に応じて改修工事や設備の更新を行っている。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	大規模改修等については予算も含め計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて随時対応している。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	95	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				95			
基本方針	重点目標	実験を通して、放射線に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に付けさせる。また、放射線の性質を比較し、特性を観察することで、原子力への正しい知識を身につける。					
	主要施策	原子力・放射線の学習に関する教材の整備を行う。					
事業の内容等	原子力などのエネルギー利用した大規模発電の仕組みを学習するとともに、太陽光など再生可能エネルギーを利用した発電方法も併せて学習し、それぞれの発電方法の利点や課題を比較することを通して、エネルギーについて客観的な見方を養うことを目的としている。						
事業の実績等	事業実施校：中原小学校（対象：5，6年生） 事業実施年数：単年申請の13年目（みやき町として） ・中原小学校：教材用デジタル気体測定器（酸素・二酸化炭素測定器） 簡易検流計、手回し発電機実験セット（蓄電実験型）						
事業の成果等	自己評価	5年生では、単元「電流と電磁石」においての実験を行った。簡易検流計は、針の触れる向きで電流の向きを調べることができるため、回路に流れる電流の向きを効果的に見取ることができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	6年生では、単元「ものが燃えるしくみ」「発電と電気の利用」において実験を行った。特に「発電と電気の利用」では、手回し発電機実験セットを使用し、電気は作り出せること、また発電した電気は手回し発電機の回し方によって、電流の向きや強さを変えることができること、そして、発電した電気はコンデンサーに蓄えて利用することができることを確かめることができた。 5年生、6年生ともに、実際に実験を行うことでエネルギーに関する興味・関心が高まり、アンケート結果からも「今回の授業は楽しかった」の項目に対して肯定的に回答した児童は90%以上であった。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	外国語指導助手配置業務事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	28,528	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							28,528
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、中学校における外国語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語授業での指導を行い、子ども達の外国語によるコミュニケーション能力の育成を行うとともに、国際理解を図る。（令和元年からの3年契約の最終年。）						
事業の実績等	<p>令和2年度から小学校で外国語が必修化され、3・4年生は「外国語活動」年間35時間、5・6年生は教科としての「外国語」を70時間実施した。そのため、ALTを6人配置した。</p> <p>中原小 ：ラチャーナ先生 ネパール籍女性 北茂安小 ：ベティ先生 ケニア籍女性 三根東・西小：ロージャー先生 アメリカ籍男性 中原中 ：メイソン先生 アメリカ籍男性 北茂安中 ：エイドリアン先生 イギリス籍男性 三根中 ：ジェラルディン先生 オーストラリア籍女性</p>						
事業の成果等	自己評価	各学校へ配置されたALTが、児童生徒と積極的に接し、英会話を楽しむことで、英語に身近に触れる環境や、コミュニケーション能力の向上につながっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	また、教職員と連携を取り、教材作成等の業務も行うため教職員の負担軽減につながっている。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	夢の教室事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,198	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,198
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実					
事業の内容等	<p>「夢の教室」として、Jリーグ選手をはじめ様々なアスリート等を、特別授業講師として迎え、実体験に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む。</p>						
事業の実績等	<p>【実施校（クラス数）及び対象学年】 中原小学校（2）・北茂安小学校（3）・三根東小学校（1）・三根西小学校（1） 6年生（7クラス）</p> <p>【派遣講師】 夢先生：池田圭（元サガン鳥栖選手）中原小（2）・北茂安小（2）・三根東小（1） 三根西小（1）を担当 高橋義希（元サガン鳥栖選手）北茂安小（1）を担当</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半35分「ゲームの時間」 子どもたちと一緒に体を動かすゲームを行い、チームが1つの目標に向かって協力していくことの難しさや面白さを学ぶ機会となった。 後半55分「トークの時間」 夢先生が「夢曲線」という自身の実体験を黒板に描きながら、困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力することの大切さを伝えた。 						
事業の成果等	自己評価	「夢の教室」を通して、夢に向かう過程や挫折したときの経験など、アスリートの実体験を直接聞くことで、夢や目標について考えさせる場面として、非常に良い機会になっている。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	みやき町教育委員会研究指定校委 嘱事業（2ヶ年事業の1年目）		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	113	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							113
基本 方針	重点目標	小中一貫教育を通して、自ら考え、生き生きと活動する児童生徒を育成する					
	主要施策	主体的に生きてく児童生徒を育む教育の推進					
事業の 内容等	町教育委員会が三根校区3校（三根東小学校、三根西小学校、三根中学校）を研究指定校として委嘱し、小中の一貫した学校教育を通して、主体的に生きていく児童生徒の育成を図った。						
事業の 実績等	<p>○決算額 113,117円</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師旅費：2,627円、消耗品費：110,550円（コピー機トナー3本：24,750円、コピー用紙A415箱：36,300円、印刷機インク20本：49,500円） <p>○研究課題 「小中の一貫した学校教育を通して、主体的に生きる児童生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを軸にした9か年の系統的な学校教育の構築に向けて～</p> <p>○研究の具体的な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 三校合同研修会の実施：三校の職員で相互に授業公開し、授業研究会を通して授業の手立てや方法についての理解を深める ② 三校合同講演会：小中の連携に関する講師により、共通認識で実践に取り組む ③ 3部会での取組：「学び部」「連携部」「支援部」で研究・実践に取り組む ④ 部会担当者の視察研修会及び報告会：事後報告会で共通認識にて実践に取り組む 						
事業の 成果等	自己評価	合同研修会（小中学校の職員が参加）を計画実施するにあたり、推進委員会、専門部代表者会を行う中で、指導目標や情報共有ができた。異校種の職員交流により、互いの業務や9年間の継続した学びについて理解を深め、教育実践の考え方を見直すことができた。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	三校合同職員研修では、3校をオンラインで結び「特別支援教育」と「メンタルヘルス」の講演会を夏季休業中に実施し、業務縮減、資質能力向上の研修につながった。 視察研修については、コミュニティ・スクールの視察を計画したが、コロナ感染症拡大のため実施できなかった。					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	959	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							959
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4／13）・中学校入学式（4／9）・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新入生のみ参加 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員分散しての参加 ○ 運動会・体育大会への参加・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加自粛 ○ 文化発表会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加自粛 ○ 青少年主張会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ○ 小学校卒業式（3／18）・中学校卒業式（3／11）・・・教育委員分散しての参加 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会定例会（年11回）・教育委員会臨時会（0回） ○ 三神地区教育委員会連絡協議会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 						
事業の成果等	自己評価	<p>教育委員会定例会を月1回開催している。各種委員の任命や準要保護児童生徒の認定などを協議した。</p> <p>また、新型コロナウイルス対策について、修学旅行キャンセル料補助金制度の要綱創設など、子どもの安全を第一にした対策について様々な協議を行った。学校訪問では、時間を短縮して実施した。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当							
				費目		事務局費								
事業費 (千円)	18,448		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源						
								18,448						
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進												
	主要施策	特別支援教育の一層の充実												
事業の内容等	特別支援学級に在籍している児童生徒及びそれに準ずる児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行う。													
事業の実績等	○特別支援学級入級者の状況（R3.5.1現在）													
	小学校 20学級			中学校 9学級			(単位：人)							
	学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級	学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級
	中原小	9	25	0	0	0	3	中原中	2	9	0	0	1	0
	北茂安小	13	33	1	0	0	22	北茂安中	4	10	0	0	0	0
	三根東小	3	5	0	0	0	1	三根中	1	3	0	0	0	0
	三根西小	1	7	1	0	0	1	中学校計	7	22	0	0	1	0
小学校計	26	70	2	0	0	27	合計	33	92	2	0	1	27	
○学校生活支援員（特別支援教育支援員）の配置状況														
・中原小7人、北茂安小6人、三根東小2人、三根西小2人の計17人を配置した。														
○学校生活支援員の報酬、期末手当、費用弁償（通勤手当分）を支出した。														
事業の成果等	自己評価		特別支援学級への入級者は年々増加しており、前年度から入級者は8人増加した。各校への配置は学級数などを考慮し、小学校が中学校よりも入級者数が増加していることから小学校に1人増で配置した。 人員の確保が課題であり、年間を通じて欠員がないように努めていく。											
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分													
評価委員	評価結果		意見・指摘事項											
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分		特になし。											
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等													

事業名	スクール・サポート・スタッフ事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	4,360	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				2,495			1,865
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	教職員の働き方改革					
事業の内容等	教員の専門性を必要としない業務に従事させることにより、学校教育活動の一層の充実及び学校の働き方改革の推進を図ることを目的としている。						
事業の実績等	<p>○令和3年度からの新規事業</p> <p>スクール・サポート・スタッフの主な業務内容は、授業準備補助（学習プリント等の印刷、配布準備等）、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての学校施設の消毒作業などに従事</p> <p>1日3.5時間勤務で従事</p> <p>各小中学校に1名ずつ配置を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>各学校長から「印刷や学習プリントの準備、課題の丸付けなどしてもらい、大変助かっている」との高評価を得ており、継続的に配置していきたい。また、新型コロナウイルス感染症対策の基本的な部分の消毒作業も、児童生徒が帰宅してから実施しており、クラスターも出なかったのは大きな成果となっている。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	スクールカウンセラー事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	2,159	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				719			1,440
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県の事業となる。						
事業の実績等	<p>【相談内容】</p> <p>小学校においては、児童では家庭環境、教職員でも家庭環境や発達障害等、保護者でも家庭環境や発達障害等に係る相談が多かった。中学校においても、家庭環境に係る相談が多く、新型コロナの影響もあった。</p> <p>(小学校合計：416h：中小：104h、北小：112h、三東小：100h、三西小：100h)－町費－</p> <p>(中学校合計：220h：中原中：40h、北中：120h、三根中：60h)－県の事業－</p>						
	<p>【相談件数】</p> <p>小学校 合計 448 件 (児童 83 件 教職員 133 件 保護者 232 件 他 0 件)－町費－</p> <p>中学校 合計 249 件 (生徒 65 件 教職員 78 件 保護者 106 件 他 0 件)－県の事業－</p> <p>【その他取組み】</p> <p>各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	学校における教育相談においては、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育などの問題の解決をサポートし、きめ細かな対応が出来るように努めている。また、カウンセリング以外にも、児童生徒に対してコロナ禍でのストレスケアやネットいじめの対処法などの授業も実施し、問題の未然防止を図っている。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	小中ともに相談件数は増加傾向にあり、学校から配置時間増加の要望もあるため、配置時間数を増加するよう県に要望していきたい。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後とも、スクールカウンセラーの配置時間が十分に確保できるよう努めていただきたい。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	スクールカウンセラーの配置時間が十分に確保できるよう努めます。						

事業名	スクールソーシャルワーカー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当					
				費目	事務局費							
事業費 (千円)	337	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源					
							337					
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進										
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進										
事業の内容等	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。											
事業の実績等	○スクールソーシャルワーカー（SSW）事業は県の事業であり、今年度は下記のとおり配置となった。報償費と費用弁償を支出している。 ・派遣人数 1人 配当時間 500時間（500時間を超えた分が町の負担となる）											
	SSW 実績 500時間（県負担）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	36h	47h	67h	48h	28h	59h	48h	34h	50h	50h	33h	0h
	町負担 102時間											
	2月	3月										
	30h	72h										
事業の成果等	自己評価	不登校やいじめの他にも家庭内暴力やネグレクト等問題のある家庭で生活する児童生徒がおり、その問題も複雑化している。関係機関と連携して、福祉的な方法で対処していかなければならない事案が多くなっており、社会福祉等の専門的な知識や経験をもっているSSWの配置が不可欠である。また、現在の配置時間で不足は生じてはいないが、同時多発的な事案にも迅速に対応できるように、SSWの複数名の配置を県に要望していきたい。										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分											
評価委員	評価結果	意見・指摘事項										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。										
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等											

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		事務局費	
事業費 (千円)	13,800	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							13,800
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。						
事業の実績等	<p>○配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接任用（各中学校に教諭補助を2人ずつ、事務局内に不登校対策支援員を1人、計7人の配置） ・中原中2人（理科・数学社会）、北茂安中2人（理科・英語）、三根中2人（国語・体育） <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教科などでTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 ・支援を要する生徒に対し、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行った。 ・不登校児童生徒対策として、教育委員会に「フリースクール」を設置し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。 						
事業の成果等	自己評価	<p>教諭補助を各校2人配置し、学習支援を行うことで、個別の学習課題に応じた支援・対応ができています。また、教員の業務のサポートを行うことで、教職員の負担軽減につながっています。</p> <p>フリースクールは、不登校の児童生徒の居場所になっており、フリースクールに来る児童生徒数は増加傾向にあるが、学校に行くことができるようになっている児童生徒もおり、効果は表れている。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		事務局費	
事業費 (千円)	9,961	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							9,961
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 活用を円滑に進める環境づくりとして、教職員の ICT 活用を支援する。ICT 支援員を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接任用（3校区に各1人の配置・全校区対応職員として1人配置） <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。 ・タブレット端末の管理、児童生徒アカウントの管理を行った。 ・授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなどの指導を行った。 ・コロナ対策としてオンライン始業式などの設定、教職員のリモート会議の支援、プリンター操作など多岐にわたり教職員の支援を行った。 ・ICT 支援員4名の報酬、期末手当、費用弁償（通勤手当）を支出 						
事業の成果等	自己評価	各学校への ICT 支援員の配置により、デジタル教科書などでの授業やリモート会議の際の機器設定など、教職員の ICT 活用を支援することができた。各学校から、学校運営に不可欠な存在だと意見が出ており、教職員の負担軽減につながっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
			費目	小中学校費		
事業費 (千円)	9,808	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 9,808
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備				
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進				
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。					
事業の実績等	【要保護児童生徒】					
	・小学校 2人 中学校 2人 計 4人					
	・修学旅行費（実費）のみの支給 支給総額 小学校 0円 中学校 0円 ※コロナで中止					
	【準要保護児童生徒】					
	・小学校 57人 中学校 64人 計 121人					
・認定者数は、ここ数年は減少傾向である。						
	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
	144人	139人	157人	165人	157人	161人
	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
	159人	159人	161人	150人	140人	118人
<ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 3,571,631円 中学校 4,741,998円 ・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。 						
新入学対象者26人（小学校 11人 594,660円 中学校 15人 900,000円）						
・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。新1年生については、就学時健康診断時に、チラシを配付している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割）						
事業の成果等	自己評価					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	準要保護児童生徒の認定者数については、ここ数年は減少傾向にある。ホームページや広報などで制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上及び、校納金等の未納を減少できた。				
評価委員	評価結果	意見・指摘事項				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。				
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等					

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目		事務局費					
事業費 (千円)	6,720	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						6,720					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生等 月額40,000円以内 / 高校生等 月額20,000円以内 の貸付 ○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子 ○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円，人) 										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成28年度	2,000	1,861	2	5	0	2	2	7	3,000	2,488
	平成29年度	3,000	1,551	2	6	3	8	4	11	5,160	1,879
	平成30年度	5,000	1,433	2	8	1	1	3	9	4,160	4,153
	令和元年度	3,000	2,066	3	8	0	4	3	12	6,040	3,179
	令和2年度	3,000	1,545	3	6	2	4	3	10	5,160	2,564
令和3年度	5,000	1,779	1	8	1	5	1	5	6,720	2,623	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5人）にて、採用者の決定を行っている。令和3年度は5月25日に開催し、高校生1人、大学生5人の採用をした。 ○ 返済については、平成24年度より3人、25年度より1人、26年度より3人、27年度より3人、28年度より3人、30年度より3人、元年度より2人、2年度より6人、3年度より2人の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。14人は返済完了している。 											
事業の成果等	自己評価	令和3年度申請については、高校生1人、大学生5人の申請であった。選考においては育英資金運用委員会において、勉学意欲、学資の支弁が困難であるか、世帯の状況、その他総合的判断に基づき決定した。申請者においては、日本学生支援機構奨学金や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。募集については、町広報やホームページにおいて周知している。基金額状況としては返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っている状況である。奨学生へのアンケートの結果、現在の貸付額で満足しているとの回答が多数であった。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	意見・指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	きちんと返済されていることについては、みやき町民の誇りを感じる。育英資金貸付制度は素晴らしい制度であり、今後も継続してほしい。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										
	今後も安定して事業が継続していけるように努めます。										

事業名	学校給食費補助事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		事務局費		
事業費 (千円)	86,080		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							41,064	45,016
基本方針	重点目標	子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。						
	主要施策	小中学校に在学する児童生徒のうち、第1子・第2子を半額補助、第3子以降を全額補助する。						
事業の内容等	<p>同一世帯で18歳に達する日以降の最初の4月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を1人目と2人目は半額を、3人目以降は全額を補助している。平成30年度から当面の間、ふるさと寄附金利活用事業として1人目と2人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。</p>							
事業の実績等	【学校別対象者数及び金額】							
	【一般会計】				【ふるさと寄附金】			
	中原小学校	387人	8,749,657円	中原小学校	405人	9,098,669円		
	北茂安小学校	543人	12,633,338円	北茂安小学校	497人	10,945,329円		
	三根東小学校	139人	3,495,839円	三根東小学校	126人	2,775,094円		
	三根西小学校	173人	4,457,302円	三根西小学校	155人	3,464,753円		
	中原中学校	165人	4,640,855円	中原中学校	163人	4,306,057円		
	北茂安中学校	218人	6,043,800円	北茂安中学校	218人	5,825,700円		
	三根中学校	159人	4,354,869円	三根中学校	156人	3,992,169円		
	町立外小学校	16人	302,072円	町立外小学校	19人	360,374円		
	町立外中学校	38人	337,812円	町立外中学校	36人	295,915円		
	特例対応	4人	97,650円	特例対応	4人	97,650円		
	合計	1,838人	45,015,544円	合計	1,775人	41,064,060円		
事業の成果等	自己評価	通常補助対象児童生徒1,838人、ふるさと寄附金補助対象児童生徒1,775人に学校給食費を全額補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	義務教育施設整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	98,764	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			24,922				73,842
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	町内小・中学校の施設整備により児童生徒の安全・学習環境の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校 ICT 機器・情報通信機器の保守業務 6,534 千円 教育情報システムのファイアウォール更新業務 394 千円 <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報通信機器サーバーの長期借り上げ (R3.2.1~R8.1.31) 32,748 千円 学習者用タブレットのソフトウェア (デバイス CAL・スカイ MENU) (620 台・603 台・29 台=1,252 台分) 22,579 千円 <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板 (10 台) 6,270 千円 <p style="text-align: right;">合計 68,525 千円</p> <p>※R2 年度繰越予算</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用タブレット (603 台・29 台=632 台) 30,239 千円 <p style="padding-left: 20px;">うち、文科省の国庫補助金 24,922 千円</p>						
事業の成果等	自己評価	G I G A スクール構想による学習者用タブレットの児童生徒 1 人 1 台の実現に向け、整備を推進した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校給食センター事業		所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																			
			費目	給食センター費																					
事業費 (千円)	69,152	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																		
							69,152																		
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																							
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																							
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間190回の給食を提供し、単独校3校に炊飯を提供した。																								
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 4人 中学生 3人) ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(8月23日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 ○ 下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。 ○ 施設・設備の老朽化に伴い、スポットクーラー取替工事(6,471千円)、ボイラー室内給湯器熱交換器等取替工事(800千円)を行った。 ○ 一日あたりの提供食数 																								
	<p style="text-align: center;">【学校給食センター】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原中学校</td> <td>196食</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>165食</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>201食</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>189食</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>15食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>766食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原中学校	196食	三根東小学校	165食	三根西小学校	201食	三根中学校	189食	給食センター	15食	計	766食	<p style="text-align: center;">【自校式】炊飯のみ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>464食</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>599食</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>272食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,335食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原小学校	464食	北茂安小学校	599食	北茂安中学校	272食	計
学校名	提供数																								
中原中学校	196食																								
三根東小学校	165食																								
三根西小学校	201食																								
三根中学校	189食																								
給食センター	15食																								
計	766食																								
学校名	提供数																								
中原小学校	464食																								
北茂安小学校	599食																								
北茂安中学校	272食																								
計	1,335食																								
事業の成果等	自己評価	衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。 異物の混入が数回あり、その都度原因を特定し、改善を行った。 老朽化に伴う施設設備の整備を行い、円滑な業務が出来るように改善している。																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	異物混入事案等が発生しないよう、緊張感をもって、引き続き取り組んでいただきたい。																							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																								
	引き続き、納入業者には指導し、職員や委託業者には研修を通して異物混入等が発生しないよう取り組んでいきます。																								

事業名	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	総務管理費			
事業費 (千円)	16,767	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			16,767				
基本 方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	新型コロナウイルス感染症対策					
事業の 内容等	小中学校で使用する新型コロナウイルス感染症対策消耗品として消毒液、アクリルパーテーション等を購入。備品として保健室で使用する全自動高圧蒸気滅菌機、血圧計、パルスオキシメーター、非接触式体温計等を配置し、新型コロナウイルス感染症拡大時の休校対応として利用する学習用タブレット端末とソフトウェア購入を実施した。また、保護者負担をなくすため、新型コロナウイルス感染症拡大による修学旅行のキャンセル料の補助をした。						
事業の 実績等	<p>○感染防止物資購入事業（消耗品費）：4,031千円</p> <p>・消毒液 1,887千円・ハンドソープ 917千円・アクリルパーテーション 437千円・医療用手袋 329千円・ペーパー 118千円・WEBカメラ 161千円・接触型体温計 78千円・不織布マスク 71千円・防護用エプロン 17千円・ゴミ袋 16千円</p> <p>○感染防止物資購入事業（備品購入費）：888千円</p> <p>・サーキュレーター（13台） 103千円・空気清浄機（12台） 785千円</p> <p>○感染防止のためのGIGAスクール構想事業：7,972千円</p> <p>・学習用タブレット購入（94台） 4,963千円・学習用タブレットソフトウェア使用料 3,009千円</p> <p>○感染拡大防止用備品購入事業：2,904千円</p> <p>・全自動高圧蒸気滅菌機（7台） 2,387千円・血圧計（7台） 110千円・聴診器（7個） 22千円・パルスオキシメーター（7個） 93千円・非接触型体温計（9個） 36千円・診察台（1個） 58千円・ソファベッド（1台） 66千円・アロエジュエル（1台） 132千円</p> <p>○修学旅行キャンセル料補助事業：972千円（北茂安中）</p>						
事業の 成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症の拡大により、学級閉鎖や学年閉鎖をせざるを得ない状況もあった。その際は、各学校との情報連携を密にしながら対応策を協議し、各学校での感染症拡大やクラスターの発生防止対策の消耗品、備品を計画通りに購入し、活用ができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>中学校の泊付き修学旅行中止のキャンセル料の補助金については、北茂安中学校でキャンセルが発生し、保護者負担をなくすことができた。</p> <p>町内小中学校でのクラスターは発生せず、感染症対策の効果があつた。</p>					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	4,001	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						600	3,401	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成						
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実						
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。							
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員を各地区1名の計57名に委嘱し、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催した回を含め、校区ごとに年間8回程度指導員会を開催した。会議では、指導員だけでなく学校長やPTA、主任児童委員、少年補導員等にもアドバイザーとして出席してもらうことにより、地域ごとの青少年育成活動状況や課題等について幅広く意見・情報交換ができ、青少年の健やかな成長を支援するための共通認識を図ることができた。例年、青少年健全育成指導員が中心となって各地区主催で実施されている地区懇談会については一昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全地区において中止となった。 ・青少年育成町民会議と連携し、青少年を対象に地区で取り組む体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施した。また、各地区を通して登下校時の立番や防犯パトロール等の活動に熱心に取り組まれている青少年サポート隊に対し、補助金を交付した。（40地区助成） ・例年、11月に実施している小中学校交流主張会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一昨年度に続き発表会を中止したが、小中学生が日頃感じていることや将来の夢等を文集として発行し、各世帯に配布することで住民に対する広報、啓発を図った。 							
事業の成果等	自己評価	青少年健全育成指導員会では毎回活発な意見交換ができ、学校長やPTA関係者にも出席してもらうことにより、指導員会で出された懸案事項等を速やかに学校での情報共有や児童生徒の指導につなげることができた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>コロナ禍で行事の実施が困難な中ではあったが、地域における子ども達の体験活動やふれあい活動を推進することにより世代間の交流を深め、地域の子どもは地域で育てる意識の高揚を図ることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、一昨年度に続き青少年サポート隊地区隊長先進地視察等の研修が実施できなかったが、サポート隊の活動補助金を交付することで活動の幅が広がるとともに、継続的な活動により登下校時の交通事故や子どもたちが巻き込まれる犯罪事案の未然防止につなげることができた。</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ 事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	3,282	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						490	2,792
基本方針	重点目標	地域住民の交流及び親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の内容等	地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。						
事業の実績等	<p>○令和3年度地区推進員登録状況</p> <p>43地区 47名登録（400世帯を超える行政区は、1名増員可）</p> <p>・中原校区 12地区 15名 ・北茂安校区 16地区 17名 ・三根校区 15地区 15名</p> <p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業 茶話会 ウォーキング ゲーム・スポーツ大会 ひなまつり 等 ・各種教室 料理教室 ゴキブリ団子作り 手芸教室 寄せ植え教室 健康教室 等 ・奉仕活動 地区内の清掃 花壇の花植え お地蔵様の前掛け作り 等 ・研修 生活習慣病・認知症予防の講話 バスハイク 御朱印神社めぐり 等 ・地区行事サポート ほんげんぎょう 資源回収 等 						
事業の成果等	自己評価	一昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各地区とも状況をみながらの活動であったが、推進員を中心として一昨年度を参考に感染症対策をとり、各種交流活動や研修会、奉仕活動等が行われた。コロナ禍での活動の企画・実施が手探り状態の一昨年度に比べ、各推進員がリーダーシップを発揮して前年度の経験をもとに活動を推進することができ、地区住民の親睦と連携の強化につなげることができたと考える。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	後任不在で活動休止の地区はあるが、3地区で新たな推進員の設置があり、全体として設置地区数は昨年度と同数の43地区である。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当																												
				費目	社会教育総務費																														
事業費 (千円)	337	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																												
				216			121																												
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成																																	
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進																																	
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>																																		
事業の実績等	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月から7月にかけて全校区で実施している前期子ども教室を中止した。</p> <p>○夏休み子ども教室は和太鼓、紙ヒコーキ等5教室に絞り、校区単位や校区合同で2回ずつ行った。</p> <p>○12月から2月にかけての後期子ども教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各校区で1回ずつ実施した。指導者として地域住民の参画を得てスポーツ、英語、木工、囲碁・将棋、ハンドベル、昔遊びや体験活動等の教室を行った。</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">放課後子ども教室名</th> <th colspan="2">夏休み子ども教室</th> <th colspan="2">土曜子ども教室（後期）</th> </tr> <tr> <th>開催回数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原風っ子元気スクール</td> <td>10回</td> <td>81人</td> <td>1回</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>茂安っ子いきいきスクール</td> <td>10回</td> <td>65人</td> <td>1回</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>三根わくわくスクール</td> <td>10回</td> <td>32人</td> <td>1回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30回</td> <td>178人</td> <td>3回</td> <td>106人</td> </tr> </tbody> </table>							放課後子ども教室名	夏休み子ども教室		土曜子ども教室（後期）		開催回数	延べ参加者数	開催回数	延べ参加者数	中原風っ子元気スクール	10回	81人	1回	63人	茂安っ子いきいきスクール	10回	65人	1回	25人	三根わくわくスクール	10回	32人	1回	18人	計	30回	178人	3回
放課後子ども教室名	夏休み子ども教室		土曜子ども教室（後期）																																
	開催回数	延べ参加者数	開催回数	延べ参加者数																															
中原風っ子元気スクール	10回	81人	1回	63人																															
茂安っ子いきいきスクール	10回	65人	1回	25人																															
三根わくわくスクール	10回	32人	1回	18人																															
計	30回	178人	3回	106人																															
事業の成果等	自己評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏休み子ども教室、後期子ども教室のみの開催としたことで、感染症対策を行いながら子ども達に安全で健やかな居場所を提供することができ、事後アンケートでは満足度が97%と高評価であった。夏休み子ども教室では放課後児童クラブの児童の参加もあり、高学年と低学年の児童の交流の他、校区合同で実施することにより他校区の児童との交流も図ることができ、日頃学校では体験できない様々な活動を通じて子ども達の健やかな育成の一助とすることができた。</p> <p>さらに、地域の方に指導者として参加していただくことで地域の大人との交流も深まり、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進することができた。</p>																																	
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																		
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																																	
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																	
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																		

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	公民館費			
事業費 (千円)	533	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							533	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と高齢者の生きがづくり						
	主要施策	生涯学習の環境づくり						
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進並びに高齢者の生きがづくりを推進する。							
事業の実績等	各会場における公民館事業の実施状況							
	会場	事業の種類			回数	参加者数（人）		
						男	女	計
	中原会場	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座			14回	39	100	139
	北茂安会場	みやき塾（北茂安編）、パソコン教室（エクセル初級・中級）、パッチワーク教室			13回	42	104	146
	三根会場	みやき塾（三根編）			2回	7	29	36
計				29回	88	233	321	
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月、9月、2月の講座・教室を全て中止した他、一昨年度に続き各教室の規模を縮小して開催した。そのため、参加者数は一昨年度よりもさらに減少したが、感染対策を講じながら住民に対する生涯学習の情報提供や学びの環境づくりに努めた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	中でもパソコン教室やパソコン講座は、例年参加される方に加え新規の受講者も多く、高齢者のICT活用の支援を行い、教養を深める機会の提供と生きがづくりの推進につなげることができた。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	18,942	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			4,500			1,500	12,942
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習施設として、学習・読書施設等の環境づくり					
事業の内容等	子育てしやすい町にふさわしい児童図書の実と支援、健康長寿のまちとして高齢者の読書活動を応援すべく資料の実と支援を行っていきます。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	令和3年度末	61,756	30,841	1,825	3,291	97,713	
	内3年度受入分	(4,322)	(1,906)	(152)	(475)	(6,855)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	町立図書館	244日	19,799人	99,651点	408.4点		
	こすもす館	196日	2,330人	9,442点	48.2点		
	改善センター	170日	629人	2,297点	13.5点		
	○ リクエスト、レファレンスサービス						
<ul style="list-style-type: none"> ・ リクエスト 予約件数 3,673件 ※ ・ レファレンス 914件 (読書相談、調べものに対応) 							
※貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び県内図書館から借受で対応							
○ 若い世代の皆さんへ学びの応援をしたいと申し出があり(株)フルーム様から寄附金を受納。「にくきゅう文庫」を創設し、ヤングアダルト世代とされる中学・高校生へ向けた本を購入しました。町内中学校・佐賀県立三養基高等学校や通学支援バスを利用する生徒へ図書館利用を促すPRを行いました。三養基高等学校から、生徒おすすめの本を紹介したPOPや手作り本スタンドの寄贈をいただくなど交流を重ねました。							
事業の成果等	自己評価	町内の新型コロナウイルス感染者の増加により、1月28日から2月14日まで約1ヶ月半の休館を余儀なくされました。7月に本のウェブ予約を導入していたため、休館中でも電話予約とウェブ予約にて544冊の予約リクエストを承り、貸出へ繋げることができました。新型コロナウイルスの流行の状況にあわせた図書館イベントを開催し、町民の余暇の過ごし方に図書館利用が定着していることを実感できた1年となりました。貸出冊数も増加しており、学校・子育て世代・高齢者世代への支援を今後も続けていき、生涯学習施設としての役割を果たして参ります。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	文化財保護費			
事業費 (千円)	24,222	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,230	864		10,116	11,012
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業 ・ 確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業 ・ 県・町指定史跡の維持管理事業 ・ 文化財の啓発活動事業など 						
事業の実績等	<p>○令和3年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：109件 確認調査実績件数：70件（70件中、19件で遺跡を確認し、4件の本調査を行った。その他は設計変更等により遺跡が保存された。）</p> <p>○本調査実施（町単独・受託事業） 賃貸住宅建設に伴う一反原遺跡の発掘調査を行った。また令和2年度に確認調査を実施した町内遺跡の整理作業と報告書作成、及び令和2年度に調査を行った板部城跡2区の整理作業を行った。</p> <p>○県指定史跡4ヶ所、町指定史跡2ヶ所の維持管理業務を実施した。</p> <p>○歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。（全5回で、参加者総計151名）</p>						
事業の成果等	自己評価	○ 開発に伴う確認調査を実施することにより、埋蔵文化財保護と開発との調整を図ることができた。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	○ 史跡維持管理事業では、除草作業を行い、景観美化に努めるとともに、見学者の利便性を高めることができた。 ○ 啓発活動の歴史講座については、コロナ感染予防で回数を制限し例年より参加者は減少したものの、郷土の文化財や佐賀県の歴史について理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会教育施設整備事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	総務管理費			
事業費 (千円)	11,425	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							11,425
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	社会教育施設・設備の充実					
事業の内容等	生涯学習の拠点となる社会教育施設・設備の整備・改修工事等を行い、施設利用における利便性の向上と施設の長寿命化を図る。						
事業の実績等	<p>○農村環境改善センター多目的ホールエアコン設置工事 事業費 9,130 千円 事業内容 令和2年度に続き、老朽化しているエアコン3台分の取替工事及び旧エアコンのフロンガス破壊処理を行った。</p> <p>○農村環境改善センター図書室前トイレブース改修工事 事業費 1,001 千円 事業内容 図書室前トイレブースの歪みによりドアが開閉しにくくなっているため、ブースの改修工事を行った。</p> <p>○こすもす館多目的ホール音響設備改修工事 事業費 920 千円 事業内容 音響設備の経年による劣化及び、旧規格品であるため電波法関連法令「無線設備規則の改正」に伴い令和4年12月以降の使用ができなくなるため、改修工事を行った。</p> <p>○こすもす館多目的ホールステージ階段手摺取付工事 事業費 374 千円 事業内容 多目的ホールステージ階段に登壇・降壇時の補助用手摺の取付工事を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	施設利用に影響が出ないよう調整し、計画どおりに実施できた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	325	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							325
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。						
事業の実績等	<p>○ 全国大会 野球（東京都2名） 水泳（東京都1名、静岡県2名） レスリング（滋賀県1名） 空手（山口県1名） フットサル（高知県1名） 卓球（東京都1名） 小計 9名（高校生以下7名） 157千円</p> <p>○ 九州大会 空手（宮崎県3名） 野球（熊本県1名） 水泳（宮崎県13名、鹿児島1名） フットサル（福岡県1名）、バレーボール（沖縄県2名） 小計 21名（大人3名、高校生以下18名） 168千円</p> <p>合計 延べ30名 325千円 （前年度15名 131千円）</p>						
事業の成果等	自己評価	前年度と比較して人数で15名、金額で194千円の増加となっており、昨年と比べ新規申請者が多かった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により行動制限がある中、徐々に大会等が開催され始め増加したと思われる。出場機会が少しずつ増え始め、補助金を交付することで出場者の負担軽減を図ることができたと考える。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<p>○6～7月 分館対抗女子ミニバレーボール校区大会、町決勝大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○9月 ナイタースーパーキックベースボール大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 登山教室 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○3月 ニュースポーツ教室 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>例年は開催した大会・教室において、多くの方にスポーツに親しんでいただいている。 令和3年度については、年度当初より新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりスポーツ大会は中止せざるを得なかった。</p>						
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかったため評価不能。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかったため評価不能					
年度以降の取り組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会体育施設整備事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	38,736	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				2,617			36,119
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	社会体育施設・設備の充実					
事業の内容等	<p>中原体育館改修工事の実施設計、三根体育館の LED 化工事、中原公園多目的広場の砂入れ事業、中原公園南側駐車場整備事業の用地購入を行い、体育施設の機能向上・維持を図った。</p>						
事業の実績等	<p>○中原体育館施設改修工事設計業務 事業費 5,615 千円 事業内容 令和4年度に行う大規模改修工事の実施設計業務委託</p> <p>○三根体育館 LED 化工事 事業費 6,600 千円 事業内容 三根体育館照明の LED 化工事</p> <p>○中原公園多目的広場整備業務委託 事業費 4,400 千円 事業内容 中原公園多目的広場の砂入れ整備</p> <p>○中原公園南側駐車場整備事業 事業費 22,121 千円 事業内容 中原公園南側駐車場整備に係る用地取得</p>						
事業の成果等	自己評価	計画どおりに完了した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						